

●風呂に入る。

らふそくをとぼすを惜み
宵暗に行水しつづ月を恋ふるも

築地藤子

アララギ発行所・編『灰燼集 大正十二年震災歌集』
古今書院、大正十三年五月二三日

湯屋の開業

来る廿日から

震災後市内で開業中の湯屋は羽澤湯、大盛湯、貴利之湯等であるが其他の湯屋も給水がないので開業が出来ずに居た處が斯くては衛生上良くないから市では極力給水に苦心し二十日頃から給水することゝなつた従つて開業し得る浴場は左記の十二ヶ所である

- 境館(西戸部境谷一七三)
-)△榮の湯(浅間町一〇)
- 五)△恵比壽湯(浅間町一六八)
- 六八)稻荷湯(浅間町六一八)
- 八)△里の湯(保土ヶ谷帷子)△宮の湯(同上)△藤の湯(同上)△踏切藤の湯(保土ヶ谷岩間)△神戸湯(同上)△鶴の湯(輕井澤一四七)△松の湯(神奈川

臺下鶴屋町)△福田湯(神奈川臺下三三)



「ビール樽の風呂」(『横浜納札浜菱連追善大会』所収)